



エコパークの住民として行動をおこそう

6回目となる「照葉樹林ク
リーンアッププロジェクト」は、
12月6日に開催されました。

この事業はテレビ宮崎の協
力で、24時間テレビの環境活動
支援事業の一環として毎年行
われているものです。今回は、
地元の中学生やユネスコエコ
パークまちづくり協議会の会
員など32人が参加し、千尋自然
公園から照葉大吊橋までの県



道宮崎須木線沿いでゴミ拾い
に汗を流しました。

約2時間30分の清掃で集ま
ったゴミの量は、なんと2トン
トラック1台と軽トラック3
台分。空き缶やペットボトル、
弁当の空き箱のほか、タイヤや
自動車の部品、米びつ、タン
板などの大型ゴミまで放棄さ
れている現状を目の当たりに
した参加者は、ボイ捨てや不法
投棄をする人たちのモラルの
なさを嘆いていました。

私たちは「ユネスコエコパー
ク」の中で暮らしています。美
しい自然環境を守り次世代に
残すことや、SDGs（持続可
能な国際目標）を意識してゴミ
を減らすことはユネスコエコ
パークの住民としての責務で
す。また、そうしたことを来町
者をはじめとする町外の人々
に発信していくことも使命の
ひとつだと言えます。

自然と共

生するまち
づくりにな
年取り組ん
できた綾町
は、「持続可
能性」や「エ
コロジー」
の先進地域



です。私たちの大きな財産であ
る綾の美しい自然を守るため
、また自然と共に生きるための
取り組みを各地に広げSDG
sの達成に貢献するためにも
、一人ひとりが行動をおこす
てきがきているのではないで
しょうか。

■綾ユネスコエコパーク推進室
☎ 77・3482

URL <https://ayabrcenter.jp>
※ユネスコエコパークセン
ターの休館日は毎週日・月曜
日および祝日です

column

ウシカメムシ

今年は丑年。ウシの名前がつく昆
虫が綾にいます。その名もウシカメ
ムシ。前胸部の両端が横に突き出し
ているのがウシの角のように見える
ことから命名されています。

幼虫の背中には鬼の顔のような
模様が浮かび上がります。シキミや
サクラなどの樹木で見られますが、
体は1cm程度と小さく、目にする機
会は多くありません。

カメムシの仲間は悪臭を放つため
嫌われがちですが、よく観察すると
きれいな色や模様を持つ種類がいた
り、ウシカメムシのように変わった
形をしたものも多く、その生態につ
いても未だ謎が多いとても興味深い
昆虫なのです。

